

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オンライン砺波A		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日	～	2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日	～	2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	無意識の習慣化	・視覚カードを用い、健康や生活に関する活動を習慣化している。 ・小学校生活への適応を意識し、しなければならないことが「無意識」のうちに、「順番」にできるように取り組んでいる。	・課題の設定や達成度をしっかりと把握できるように、支援記録の取り方を改善する。 ・きめ細やかなアセスメントにより課題をスモールステップで最適に設定し、達成感をもって活動に取り組めるように支援する。
2	個別支援	・職員との個別支援を基本とし、運動・感覚や認知・行動を中心としたプログラムを実践している。	・プログラムの大枠は決まっているが、活動の内容は個別に対応している。
3	利用児童・保護者との信頼関係	・ラインでこまめにお子さんの状況をお知らせしている。 ・保護者からのご相談は、ラインや送迎時にお顔を見て、また電話などでも応対している。 ・児童の担当を偏らせない。 ・児童の良いところを職員で共有し、たくさんほめる。	・ラインの内容を精査する。 ・支援記録の取り方を改善し、児童について共通理解を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	臨機応変な対応や柔軟性をはぐくむ支援	・スケジュール化がすすみ、突発的な変更やいつもと違う活動をする機会が少ない。	・活動の大枠は決まっているが、その中での選択の自由を保障していく。
2	他児とのかかわりが少ない	・個別支援が必要な児童が多い。 ・日中の利用が多く、時間が合わない。	・本人や保護者の希望により、個別対応、少人数対応、放課後等デイサービスでの集団活動参加などに柔軟に対応していく。 ・土曜日のリトミック教室などに参加の声掛けをしていく。
3	環境整備	・教室が2階にあるため、活動の制約がある。 ・放デイと同じ教室であるため、環境を共有することになる。	・移動式の平均台や大型プロジェクターを使い、粗大運動を行う工夫をする。 ・児童発達支援の利用者用の椅子などを工夫する。 ・放課後等デイサービスで引き続き利用する児童もいるため、支援ツールなどの共有によってなだらかな移行を促す。 ・放課後等デイサービスと時間が重ならないように配慮している。